

## 「ストレス」について考える

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今月は「ストレス」について考えたいと思います。

当社の売り物の多くは、形のないサービスであります。

その実態は、目に見えない社員の皆さんの「心」であり、

個々の「スキル」であります。私が当社に入社し、この仕

事が好きになった理由は、現場の皆さんに接し、予期せぬ「感動」に触れたからです。それは、仕事に対する「愛情」であり、仲間に対する「思いやり」に接したのであります。



代表取締役社長 吉田治伸

この数年たいへん順調に業績が伸びた事もあり、会社と社員の皆さんの関係は、随分良好であると思っておりましたが、現場に伺うと現場の皆さんから時々辛らつなクレームを頂戴します。業績の伸びが営業の成長や現場の教育を上回り、現場の皆さんにご迷惑をかけていたのかもしれませんが、「幸福」や「ありがとう」を共有しようと現場を訪問したのに、現場の皆さんから会社の不備を指摘される事は大変「へこむ」出来事なのであります。

当社の社員にとって「ストレス」は、肉体的なことだけでなく、「人が思うように動いてくれない」という部分が多いのではないのでしょうか？

私自身のそんな「ストレス」の対処法は、

- ・ 他人と過去は変えられない。変えられるのは自分と未来。
  - ・ 他人に何をされたか数える人生は寂しい。
- 人に何をしてあげるかを考えないと良い人生は送れない。

と思うことあります。

「いつも変化は自分から」であります。

大変な猛暑になりそうな気配ですがご自愛ください。